

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2004-215681(P2004-215681A)  
 【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-030  
 【出願番号】特願2003-2914(P2003-2914)  
 【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成18年6月8日(2006.6.8)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件が成立することに起因して識別情報を変動表示し、その変動表示結果が予め定められた特別表示態様となった場合に特別遊技状態となる遊技機において、

所定保留条件成立に基づいて、識別情報の変動表示についての特殊演出態様の実行を保留し、所定実行条件成立に基づいて、保留済みの特殊演出態様を連続して実行する連続特殊演出態様実行手段

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

始動条件が成立することに起因して識別情報を変動表示し、その変動表示結果が予め定められた特別表示態様となった場合に特別遊技状態となる遊技機において、

所定の外れリーチの発生数をカウントする外れリーチ発生数検出手段と、

前記外れリーチ発生数検出手段での検出数が所定数に達し、さらに、変動表示結果が特別表示態様になるという当たりが成立し、かつ、識別情報の変動表示の保留数が所定数であるというそれらの条件の成立に基づいて、識別情報の変動表示についての特殊演出態様を実行する特殊演出態様実行手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

始動条件が成立することに起因して所定の抽選を行い、当該抽選に基づいて識別情報を変動表示し、その変動表示結果が予め定められた特別表示態様となった場合に特別遊技状態となる遊技機において、

前記抽選の結果が所定の結果となることを第1の所定条件とし、その第1の所定条件の成立した回数を記憶する第1条件成立記憶手段と、

前記第1条件成立記憶手段により記憶される前記回数が所定数に達したことを第2の所定条件とし、その第2の所定条件が成立したことを記憶する第2条件成立記憶手段と、

前記第2条件成立記憶手段により第2の所定条件成立が記憶されていることを少なくとも1の条件として、識別情報の変動表示についての特殊演出態様を実行する特殊演出態様実行手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。